

# ホスピス緩和ケア週間2011

近藤内科病院 緩和ケア病棟  
「ホスピス徳島」の成り立ち  
1983.11.12  
徳島市の南に開院した内科病院。  
2002.4.1(平成14年)  
病院改築に当たり緩和ケア病棟開設  
内科病棟病床数 : 35床  
緩和ケア病棟病床数 : 20床  
(全室個室)  
2002.5.1 緩和ケア病棟承認 (104番目)  
2007.12 NPOホスピス徳島がん基金設立



近藤内科病院全室(35階)緩和ケア病棟

## 緩和ケア病棟入棟基準 (ホスピス徳島)

- 1) 医師により治療が望めないと判断された悪性腫瘍の患者を対象とする。入院後は症状コントロールの必要性に基づき、入院後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、以後3ヶ月毎に必ず再判定を行い、再判定の結果、病状が安定している場合は退院、又は他院への転院を勧める。
- 2) 患者と家族が入院を希望していることが原則であり、診療情報提供書が必要とする。
- 3) 入院時に病名・病状について理解していることが望ましい。理解していないときは患者の求めに応じて、適切な病名・病状の説明がなされることを家族が了承していること。
- 4) 介護者休暇は2週間以内とする。
- 5) 入院判定後3ヶ月間、当院での入院または退院など行っていない場合は入院に際しては再判定が必要である。

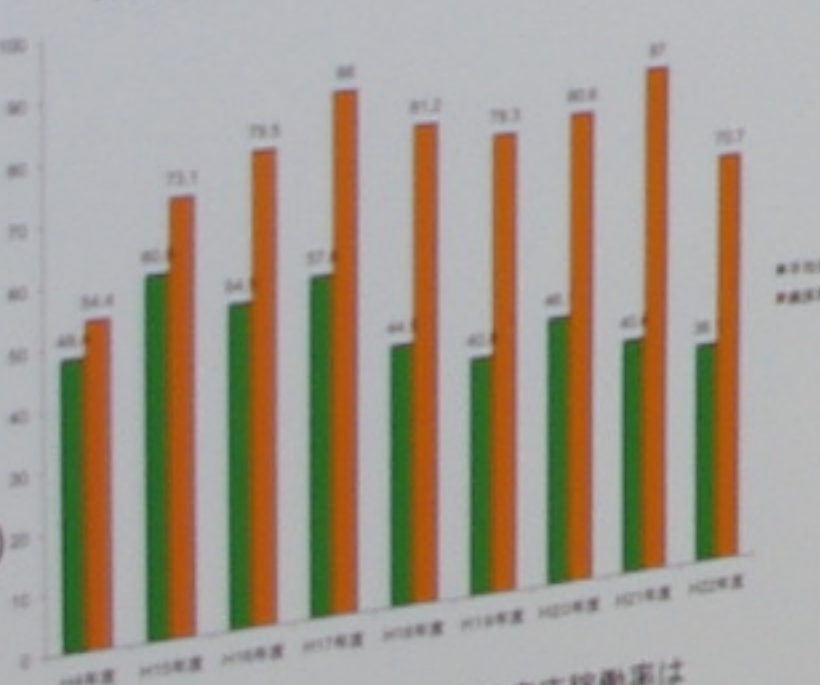
H22.8.1 改訂

## 「ホスピス徳島」における患者動態 (2002.4.1-2011.3.31)

入院患者数	1123 名
退院患者数	1113 名
死亡退院	
2002.4.1-2003.3.31	70
2003.4.1-2004.3.31	79
2004.4.1-2005.3.31	93
2005.4.1-2006.3.31	98
2006.4.1-2007.3.31	111
2007.4.1-2008.3.31	113
2008.4.1-2009.3.31	112
2009.4.1-2010.3.31	127
2010.4.1-2011.3.31	141 名
計	944 (84.8%)

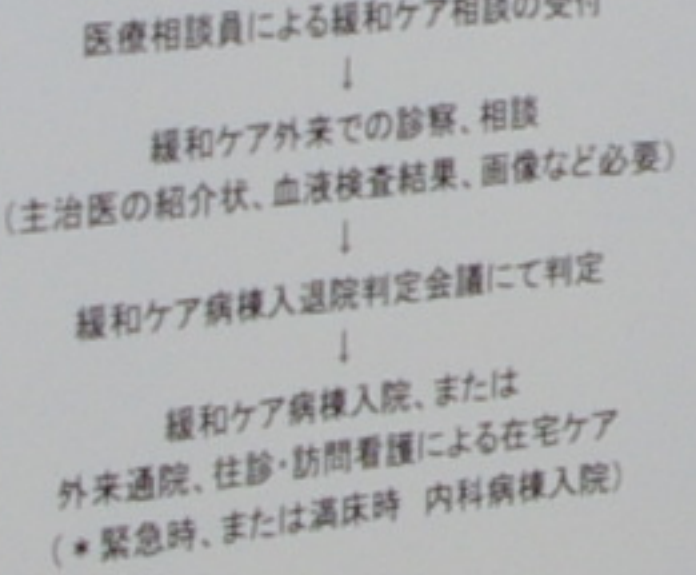
※開院後9年間に死亡退院された方々の統計的なことを以下に示します。

## 年度別稼働率と平均滞在日数

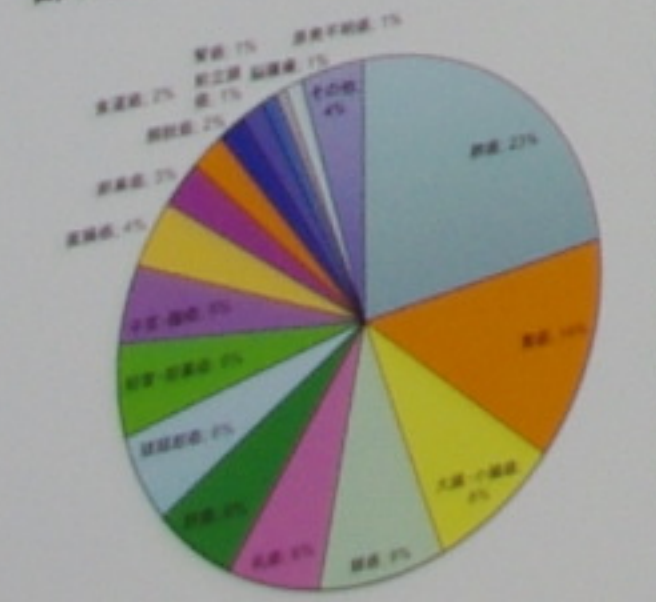


全国の緩和ケア病棟の平均稼働率は80.16%、平均滞在日数は41.8日

## 緩和ケア病棟入院までの流れ



## 部位別がん患者の占める割合 計944名



### ホスピス徳島入院患者の紹介元

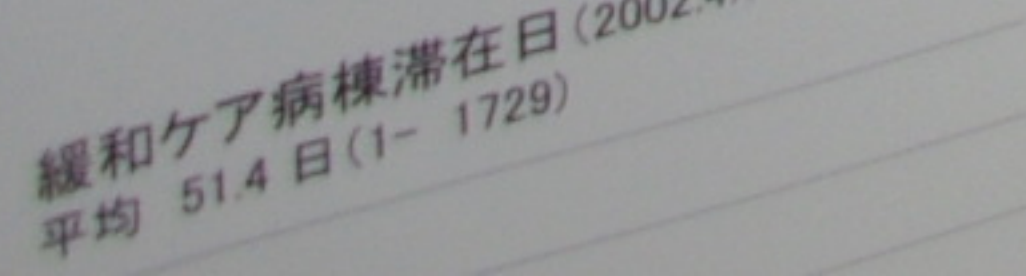
紹介元	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	計
院内	7	8	9	8	12	15	18	7	7	94
院外	63	71	84	90	103	101	97	109	134	852
合計	70	79	93	98	111	113	112	117	141	944
徳島大学病院	15	9	16	21	26	31	29	33	42	224
徳島中央病院	7	10	12	12	19	12	8	13	17	113
徳島赤十字病院	11	23	17	22	27	29	20	25	31	205
徳島市市民病院	3	9	7	7	4	1	3	6	10	64
その他	4	3	7	3	2	1	3	8	2	40
徳島市市民病院	40	54	56	65	78	84	72	88	97	640
総合病院	16	13	23	18	18	12	20	20	27	169
医療法人	56	68	79	83	96	106	107	107	131	834
徳島県内	7	7	7	7	7	7	7	7	7	63
徳島県外	63	71	84	90	103	101	97	109	134	852
紹介元	90.8	89.8	90.3	91.8	92.8	89.8	86.6	85.6	93.4	90.2

※ホスピス徳島入院患者のほとんどが他施設からの紹介によるものです。

年齢分布: 944名 (2002.4.1-2011.3.31)  
平均 69.5歳



緩和ケア病棟滞在日 (2002.4.1-2011.3.31)  
平均 51.4日 (1 - 1729)



## がんと診断された時から緩和ははじまります

- ・ 痛みでお悩みの方
- ・ がん治療でお悩みの方
- ・ 治療費でお悩みの方
- ・ ご自宅で過ごすことに不安のある方
- ・ 転院に不安がある方
- ・ 自宅での介護に悩みがある方
- ・ 憂鬱な気分でご過ごされている方
- ・ 身内のがん患者との接し方でお悩みの方
- ・ 当院に入院中・外来通院中でご希望のある方

仕事のことなど...



徳島大学病院  
がんに関する悩みは 緩和ケアチームへ  
まずは担当医・担当看護師にご相談ください

## 徳島県立中央病院 緩和ケア支援チーム

★緩和ケアは、がんなどの病気によって起こる「からだ」や「こころ」のつらさや苦しさを和らげるようサポートをしていく医療のことです。

★緩和ケア支援チームのメンバー  
医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカー、放射線技師等  
各病棟の緩和ケア委員会の委員もいます。



緩和ケアのご相談は、主治医・担当看護師  
または、総合相談窓口にお申し付けください。  
緩和ケア外来 火曜日午後1時～130分

- ★患者さんやご家族への言葉
1. 身体的な苦痛 (痛みや息苦しさ、たふさ、食べられないなど)
  2. 心理的な苦痛 (不安、不眠、再発や転院に対する不安など)
  3. 社会的・経済的な苦痛 (治療の費用、収入減少、仕事や家事ができないなど)
  4. スピリチュアルな苦痛 (人生の意味、この病気をどう受け止めるか、死生観など)

★緩和ケア支援チームは、院内・県内の医療介護専門職員の研修会開催などの活動もしています。

徳島県立中央病院  
緩和ケア外来  
火曜日午後1時～130分

がんに関する悩みは 緩和ケアチームへ  
まずは担当医・担当看護師にご相談ください



# ホスピス緩和ケア週間2011



## 徳島赤十字病院 医療相談支援センター

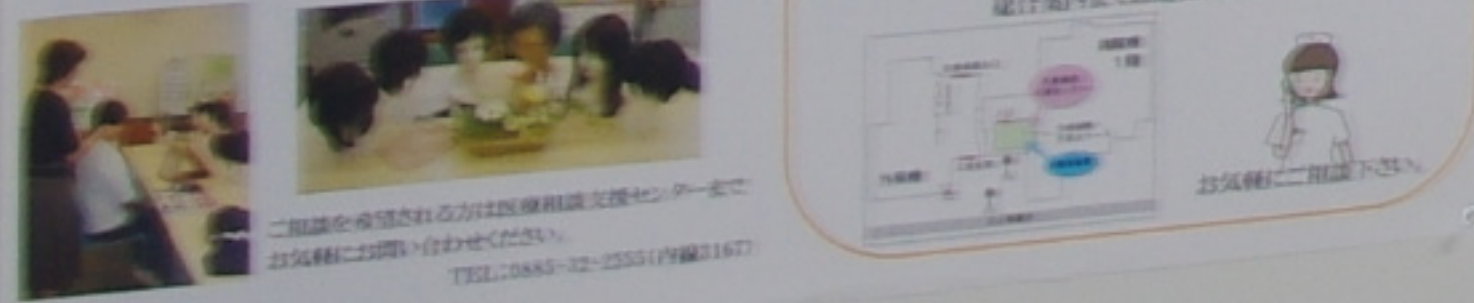
医療相談支援センターでは次のようなご相談をお受けしています

抗がん剤に伴う痛み、嘔吐、下痢などに関する相談  
 症状緩和に関する相談  
 治療・処置に関する相談  
 臨床心理士の紹介  
 セカンドオピニオンの支援  
 病院・施設への紹介  
 訪問診療や訪問看護サービスの紹介  
 医療費の相談  
 がんに関する図書  
 インターネットによる情報収集

※ 注 個人情報に該当する内容は、患者様の同意がない場合にはお答えできませんのでご了承ください。

## 生活応援グッズのご紹介

- 抗がん剤の副作用による脱毛で悩んでいるあなたへ  
 “こんな悩みが解決したい”  
 “治療中でも安心して、快適に過ごすために”  
 医療用かつ、親子の髪とヘアードレスを準備してあげてください。お気持にお返しください。  
 医療用かつ、親子の相談会  
 日曜：第1金曜日、第3金曜日 13:30～16:30  
 (協力患者 2名 予約 1日前を要する場合があります)  
 場所：医療相談支援センター
- 乳房手術をした方の下着  
 乳房手術をした方の下着のカタログと製品見本を準備しております。
- スローマ(人工耳)を造られたお父様やご家族へ  
 スローマや耳目についての相談、皮膚トラブルなどのご相談に医療・健康ケア認定看護師が対応いたします。  
 また、スローマだけでなく失聴や難聴などの情報ケアについてもご相談ください。



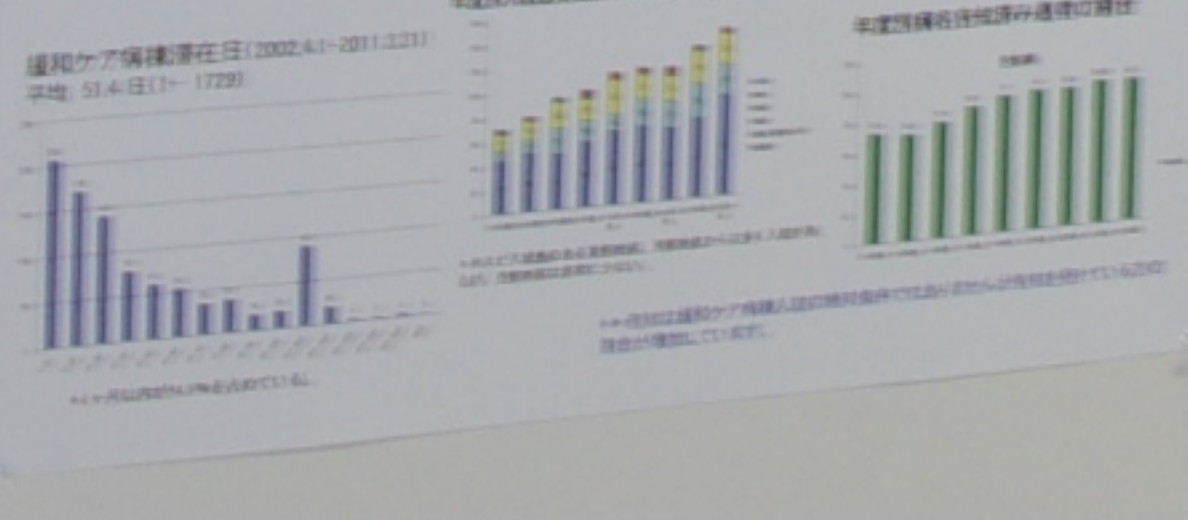
がん診療連携センター  
 〒770-8585 徳島県徳島市東町1-1-1  
 TEL: 0885-32-5555 FAX: 0885-32-5555

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み  
 1993.11.12 徳島市の地に開設した内科病院  
 2002.4.1(平成14年) 緩和ケア推進協議会  
 2002.11.1(平成14年) 緩和ケア推進協議会  
 2007.11.1 緩和ケア推進協議会(104単位)

「ホスピス推進」における連携数

入院患者数	112名
通院患者数	113名

2002.4.1～2002.3.31 70  
 2003.4.1～2003.3.31 78  
 2004.4.1～2004.3.31 80  
 2005.4.1～2005.3.31 88  
 2006.4.1～2006.3.31 111  
 2007.4.1～2007.3.31 113  
 2008.4.1～2008.3.31 112  
 2009.4.1～2009.3.31 127  
 2010.4.1～2010.3.31 141名  
 計 944 (94.9%)



緩和ケア推進協議会  
 〒770-8585 徳島県徳島市東町1-1-1  
 TEL: 0885-32-5555 FAX: 0885-32-5555

## がんと診断された時から緩和をはじめます

- 痛みを和らげる
- 吐き気や嘔吐を和らげる
- 食欲不振を和らげる
- 便秘や下痢を和らげる
- 疲労感を和らげる
- 不安や心配を和らげる
- 生活の質を高める
- 家族の悩みに寄り添う
- 緩和ケアチームによるサポート



がんに関する悩みは「緩和ケアチーム」へ  
 まずは担当医・担当看護師にご相談ください

## 徳島県立中央病院

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み

## 徳島県立中央病院

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み

緩和ケア推進協議会「ホスピス推進」の取り組み

# ホスピス緩和ケア週間



## センター

お話を聞かせています  
よく聞きたい

胸水に伴う息苦しさ  
ゆっくり相談できないことについて知りたい  
理学療法、  
サプリメントや民間療法などについて知りたい  
痛みなどゆっくり話を聞いてほしい  
医師の意見を聞きたい  
よく聞きたい  
どうしたらよいか聞きたい  
制度について知りたい  
その他  
最新情報、がん治療の最新情報・緩和ケアなどに  
ついて  
は答えられませんのでご了承ください。

## ほっとハートサロン

当院では、がんとうまく付き合い、自分らしい生活を  
暮らすとともに情報交換できる会を開催しています。  
多くだけでも、「気持ちが軽くなる」という感想をいただ  
はじまり：2009年5月開始  
頻度：2ヶ月に1回、60分  
参加できる方：当院で治療、療養を受けている  
患者様とご家族

参加費：無料  
場所：病院棟1階 地域国際交流スペース  
参加者延べ人数：121名(2011年8月現在)

日時：月曜日～金曜日(祭日は除く)  
時間：9:00～16:00  
場所：病院棟1階 地域国際交流スペース内  
内容：直接面談 60分、電話相談 20分  
参加費：無料  
予約番号：0885-32-2555 (内線:3167)  
0885-32-0719  
Eメール：sien@tokushima-med-irc.or.jp  
お問い合わせ：電話・FAX・e-mailでご予約をお願いします。  
直接ご来院される場合は医療相談支援センター  
(病院棟地域国際交流スペース内)または外来  
総合案内までお越し下さい。

お気軽にご相談下さい。

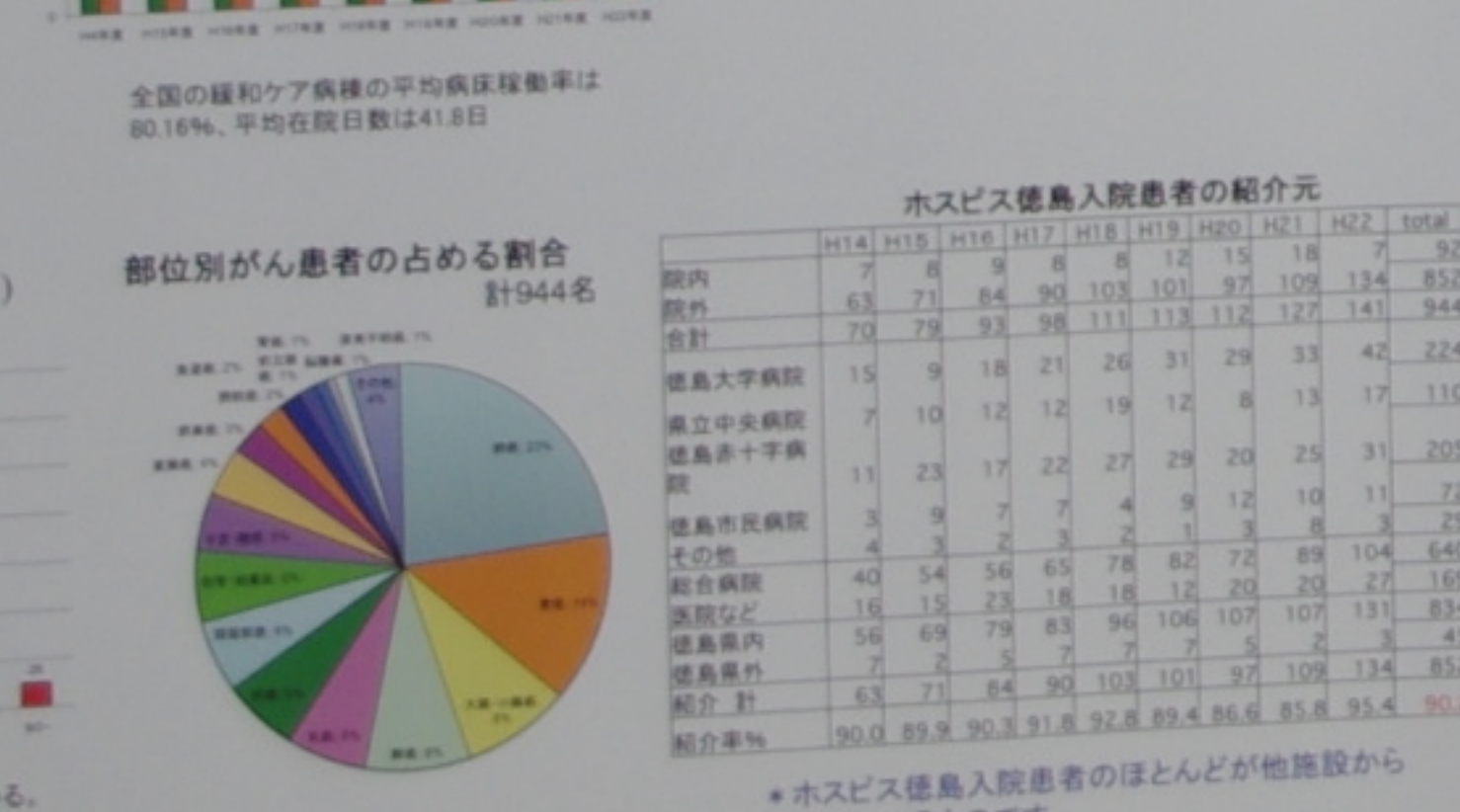
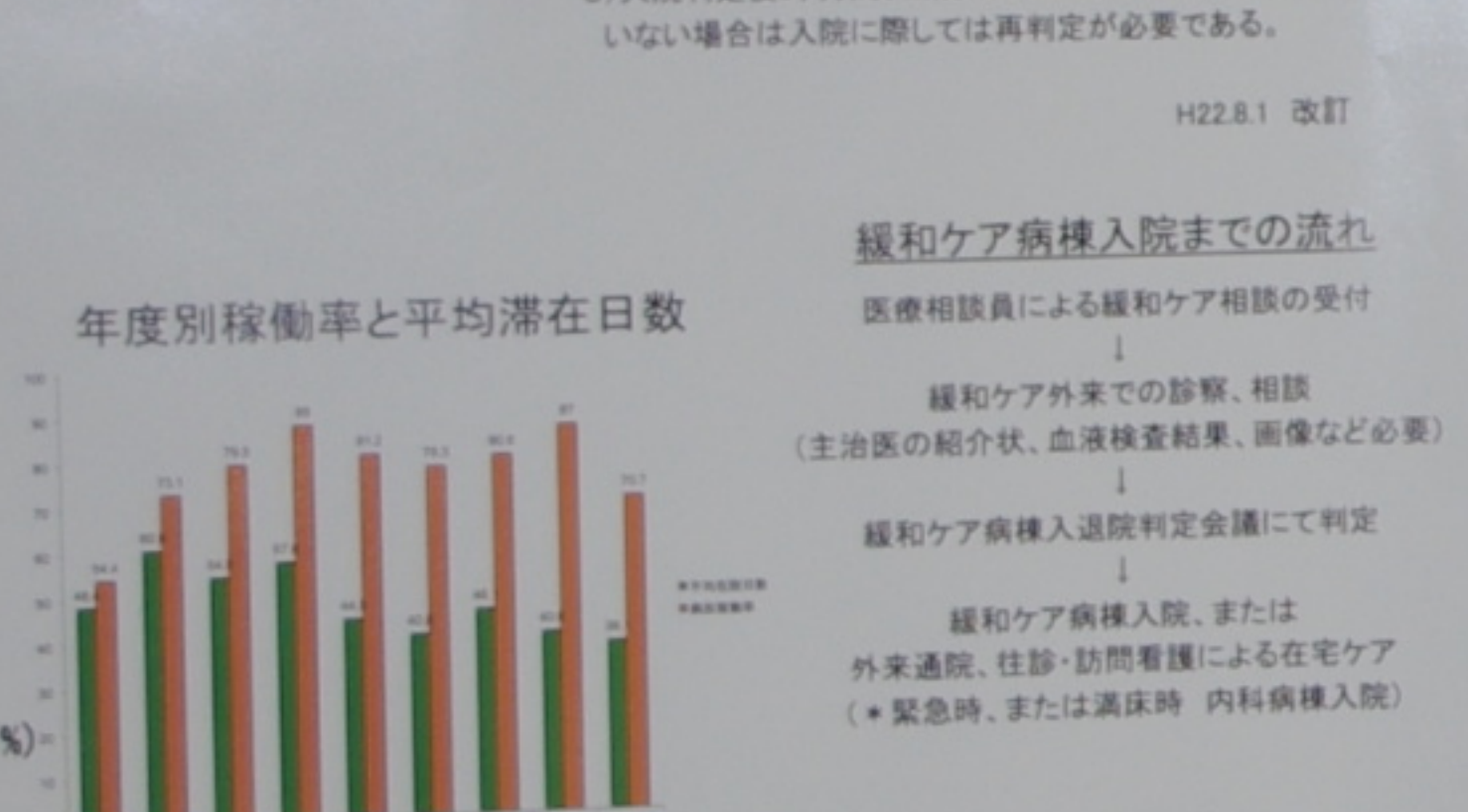
近藤内科病院 緩和ケア病棟  
「ホスピス徳島」の成り立ち  
1983.11.12  
徳島市の南に開院した内科病院。  
2002.4.1(平成14年)  
病院改築に当たり緩和ケア病棟を開設。  
内科病棟病床数 135床  
緩和ケア病棟病床数 20床  
(全室個室)

「ホスピス徳島」における患者動態  
(2002.4.1～2011.3.31)

入院患者数	1123名
退院患者数	1113名
死亡退院	
2002.4.1～2003.3.31	70
2003.4.1～2004.3.31	79
2004.4.1～2005.3.31	93
2005.4.1～2006.3.31	98
2006.4.1～2007.3.31	111
2007.4.1～2008.3.31	113
2008.4.1～2009.3.31	112
2009.4.1～2010.3.31	127
2010.4.1～2011.3.31	141名
計	944 (84.8%)

緩和ケア病棟入院基準 (ホスピス徳島)

- 1) 医師により治療が望めないと判断された悪性腫瘍の患者を対象とする。入院後は症状コントロールの必要性に基づき、入院後1ヶ月、3ヶ月、6ヶ月、以後3ヶ月毎に必ず再判定を行い、再判定の結果、病状が安定している場合は退院、又は他院への転院を勧める。
- 2) 患者と家族が入院を希望していることが原則であり、診療情報提供を必要とする。
- 3) 入院時に病名・病状について理解していることが望ましい。理解していないときは患者の求めに応じて、適切な病名・病状の説明がなされることを家族が了承していること。
- 4) 介護者休養は2週間以内とする。
- 5) 入院判定後3ヶ月間、当院での入院または通院など行っていない場合は入院に際しては再判定が必要である。



## がんと診断された時から緩和ははじまります

- ・ 痛みでお悩みの方
  - ・ がん治療でお悩みの方
  - ・ 治療費でお悩みの方
  - ・ ご自宅で過ごすことに不安のある方
  - ・ 転院に不安がある方
  - ・ 自宅での介護に悩みがある方
  - ・ 憂鬱な気分でご過ごされている方
  - ・ 身内のがん患者との接し方でお悩みの方
  - ・ 当院に入院中・外来通院中でご希望のある方
- 体のことや心のこと  
仕事のことなど…



がんに関する悩みは 緩和ケアチームへ  
まずは担当医・担当看護師にご相談ください

徳島大学病院

## 徳島県立中央病院



★緩和ケアは、がんなどの病気によって起こる「からだ」や「こころ」のつらさを少しでも和らげるようサポートをしていく医療のことです。

☆緩和ケア支援チームのメンバー：  
医師、看護師、薬剤師、管理栄養士、理学療法士、ソーシャルワーカー、放射線技師等  
各病棟の緩和ケア委員会の看護師もいます。



痛みで、動くのがつらくなっていませんか？  
イライラして、家族にあたっていませんか？  
経済的負担も心配はありませんか？  
がんと闘って頭が真っ白になっていませんか？  
食欲がなくなっていませんか？  
麻薬使うことへの不安はありませんか？

緩和ケアのご相談は、主治医・担当看護師  
または、総合相談窓口にお申し付けください

緩和ケア外来 火曜日午後1時～(30分枠)

- ★患者さんやご家族への苦痛
1. 身体的な苦痛 (痛みや息苦しさ、だるさ、食べられないなど)
  2. 心理的な苦痛 (不安、不眠、再発や転移に対する不安など)
  3. 社会的・経済的な苦痛 (治療の費用、収入減少、仕事や家事ができないなど)
  4. スピリチュアルな苦痛 (人生の意味、この病気を意味、死生観など)
- ★緩和ケア支援チームは、院内・県内の医療介護専門職対象の研修会開催などの活動もしています。

## 徳島市

当院では、がん患者さんやご家族に  
対し、精神的・肉体的な面において  
生活の質の向上を図ることを目的に  
平成14年に「緩和ケア検討委員会」  
を設立し、平成20年より「緩和ケア  
委員会」として多職種でのチームの  
活動を開始しました。



<緩和ケアチーム構成メンバー>

内科医師	2名
外科医師	1名
放射線科医師	1名
心療内科医師	1名
薬剤師	2名
栄養士	2名
理学療法士	2名
作業療法士	1名
がん支援相談員	1名
看護師	11名
メディカルソーシャルワーカー	2名

緩和ケア認定看護師が  
誕生しました